

令和7年はたちの集い 祝辞

輝かしい令和7年の新春を迎え、本日ここに「はたちの集い」が開催されるにあたり、20歳という人生の節目を迎えられる皆さんに心よりお祝いを申し上げます。

本年は、富山市全体で3,919人の方々が20歳を迎えられます。皆さんには、まず、これまで愛情深く育ててくださったご家族ならびに恩師の方々、そしてこれまで常に温かい目で皆さんを見守り、また本日こうして祝福してくださる地域の皆さんに、改めて心からの感謝の気持ちを伝えてください。

そして、これからは、社会的に自立した個人として、より多くの権利を得るとともに、義務と責任を負うことになります。皆さんには、その重みを今一度認識し、「大人」としての自覚を高めていただきたいと思います。

さて、去年は元日に発生した能登半島地震をはじめ、各地で自然災害が発生するなど、様々な困難に見舞われました。

そのような中、パリオリンピックにおいて、スケートボード女子ストリートの中山 楓奈（なかやま ふうな）さんや、バスケットボール男子の八村 塁（はちむら るい）さんら、本市出身の若い世代が世界の舞台で大活躍され、両選手の活躍は、市民に大きな勇気と希望を与えてくれました。20歳を迎える皆さんも、彼らに続き、それぞれのステージで活躍すべく夢に向かって進んでいくことを大いに期待するものであります。

現在、本市では、これまで進めてきたコンパクトシティ政策を深化させ、ICT技術等の活用により、市民生活の質や利便性の向上を図る「スマートシティ」の実現を目指すなど、市民の皆さんが未来への夢と希望を抱き、安心して暮らすことのできる「幸せ日本一とやま」に向けて、さまざまな事業に取り組んでおります。これからも、誰もが住み続けたいと思えるまちづくりを、市民の皆さんと共に進めてまいります。

どうか、皆さんには、ふるさと富山に誇りを持ち、柔軟で豊かな発想と、どんな事にも勇猛果敢に取り組むチャレンジ精神で、これからの人生を力強く前進され、新しい時代を切り拓いていかれることを強く願っております。

結びに、本日の、はたちの集いの開催にあたり多大なご尽力を賜りました、地域の皆さんをはじめとする関係各位に深く敬意を表しますとともに、20歳を迎えた皆さんのご健康、ご多幸を心よりお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和7年1月3日

富山市長

藤井 裕久